

平成24年度 県政運営評価戦略会議 説明資料



基本目標7

宝の島・創造とくしま

平成24年8月23日(木)

徳島県経営戦略部

いけるよ！徳島・行動計画における経営戦略部の取組

基本目標7「宝の島・創造とくしま」 ～地域で未来創造～

種 別	取 り 組 み
基本方針	行財政改革の基本方針策定
	～とくしま未来創造プラン～
ヒ ト	3,000人体制の推進
	ワーク・ライフ・スタイルの変革
	職場における人材育成
	コンプライアンスの推進
モノ	県有施設の有効活用
カ ネ	新たな財政構造改革の推進
	とくしまトクトク 事業の推進
	・ゼロ予算事業 ・県民との協働事業 ・県民スポンサー事業
情 報	県民との対話型広報広聴事業の展開
	・宝の島徳島「わくわくトーク」
	・職員自らが制作する映像による情報発信

行財政改革の基本方針策定！

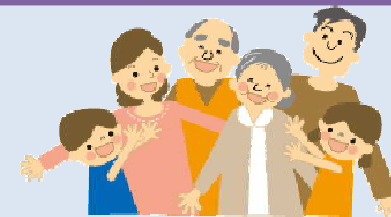
基本方針策定

「とくしま未来創造プラン～徳島からの新たな挑戦～」 H23.11月策定

改革目的：県民の夢と希望の実現

基本理念：「新しい発想」で「新次元の行財政運営」に挑戦

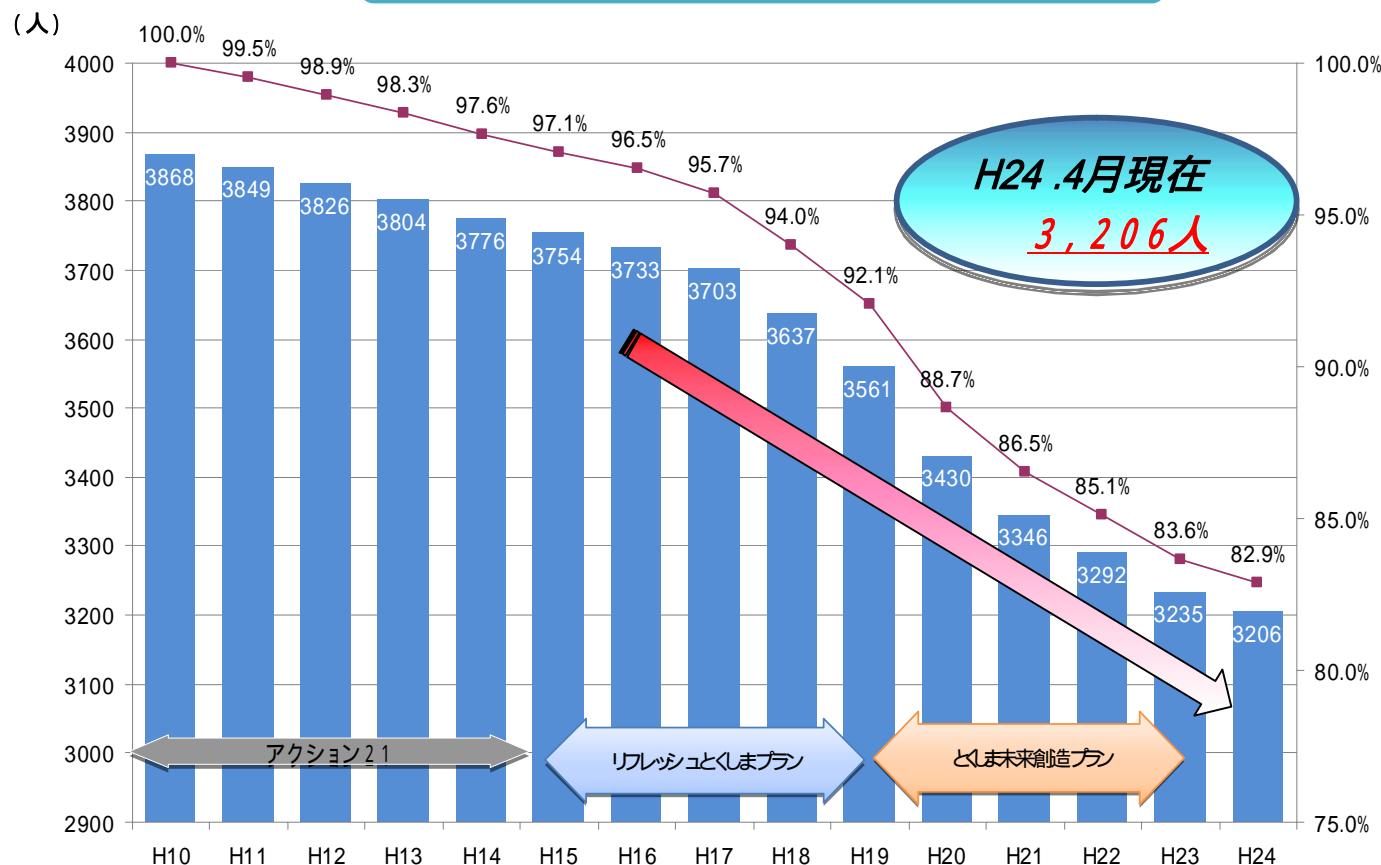
推進項目：100を超える改革項目を推進 改革期間：23～26年度までの4年間



「3,000人体制」の推進！

ヒトの活用

一般行政部門職員数の推移



H24.4月現在

3,206人

「若者の雇用の場」の確保と「いびつな年齢構成」の是正に向け、

H24年度の採用は

「100名」超！

H25年度の採用枠も

「100名」を確保

バランスのとれた「定員管理」へ

ワーク・ライフ・スタイルの变革!

ヒトの活用

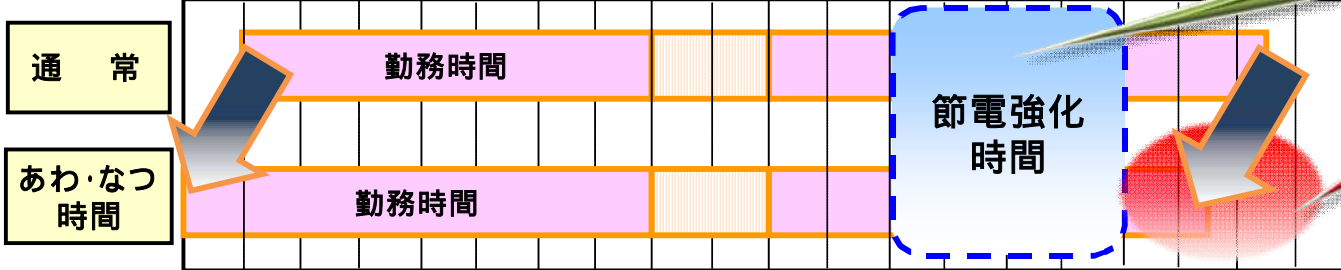
進化する「あわ・なつ時間」～徳島県版サマータイム実証実験の拡大～

目的

夏場の厳しい電力需給への対応
将来に向けた新たなライフスタイルへの転換
県率先による官民一体の取組み

15時前後に「節電強化時間」を設定
・集中的な節電対策(ピークカット)
・業務の分散化(ピークシフト)

8時 9時 10時 11時 12時 13時 14時 15時 16時 17時



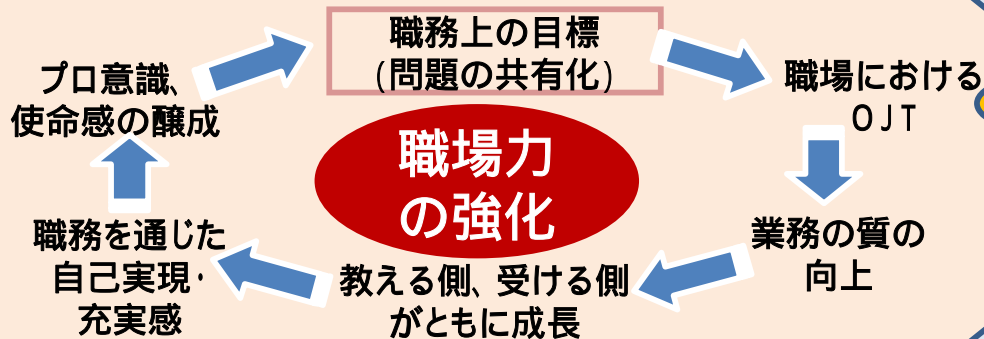
超勤縮減に向けた取組強化
・定時退庁等の促進
・積極的な業務の見直し

県庁のみならず、民間企業や市町村等へ働きかけ

職場における人材育成力の強化!

若年層の減少により「将来の組織力の維持」が懸念
効果的な「知識・技術力」の継承が必要
担当内における「責任体制」が曖昧、
「チェック機能」が十分発揮されない等の課題

組織力が十分発揮されていないため、
「うっかりミス」の続発や「不祥事」の
発生にもつながっている



「職場力」の一層の強化が、
組織活性化への鍵

- ・担当制のあり方、OJT推進マニュアルの策定
- ・若手職員のキャリアアップ支援取組み等を検討

コンプライアンス取組みの徹底!

職員提案、参加による「ボトムアップ型取組み」のさらなる推進
適切な「チェック体制」の確立
制度の適正運営に関する「重層的なチェック」の実施

不祥事の根絶に向け、
創意・工夫を凝らした
不断の取組みを実施

県有施設の有効活用！

モノの活用

H23年度の取組

< 数値目標1 >

地域活動を支援する「県有施設空きスペース」有効活用事業の創設
H23 創設

実績 **【H23】創設**

< 数値目標2 >

「県有施設空きスペース」貸付
区画数 H21 - H23 2区画

実績 **【H23】2区画を貸付**

貸付の対象となる県有施設(庁舎)空きスペースの環境整備を行い、2区画の貸付を実施。(H23~)

<貸付箇所>

東部県税局吉野川庁舎
(貸付先)社会福祉法人
南部総合県民局阿南庁舎
(貸付先)社団法人



有効活用

効果(歳入)額 1,618千円/年

効果

地域の社会貢献活動の推進

地域経済の活性化

歳入確保の実現

今後の取組方針

新たな貸付区画の選定

庁舎空きスペースの新たな貸付区画を検討・選定し、民間・NPO等への公募型貸付を実施

新たな財政構造改革の推進！

カネの活用

「堅実かつ安定的な財政運営」を実現するため、昨年7月に新たな「財政構造改革基本方針」を策定

改革目標

改革期間は
「H23～H25」の3年間

1 「財政中期展望」における「収支不足額」の解消

収支不足額の解消 H23からH25までの間に 130億円

取組状況：H24当初予算編成時に「47億円」、財政調整基金の積み戻しで「30億円」、合わせて「77億円」の収支改善

2 「公債費」の縮減

「財政の弾力性」を確保

公債費 H21 806億円 H26までに 600億円台 *一般会計ベース、臨時財政対策債除く

取組状況：H 23 757億円

3 「財政調整的基金」残高の充実

「急激な変化」に対応
安定した財政運営

財政調整的基金残高 H21末 80億円 H26末までに4倍増となる 321億円

取組状況：H 23末 187億円

引き続き、財政構造改革を着実に推進し、財政の健全化を目指す。

「とくしま」トクトク「事業」の展開！

カネの活用

「施策の推進には予算を伴う」という固定観念から脱却し、県職員の創意工夫と、県民の皆様のノウハウ、パワー、ネットワークなどを最大限に活かして、様々な施策を実施する『とくしま“トクトク”事業』の積極的な展開

ゼロ予算事業

県民スポンサー事業



県民との協働推進事業

【目標】
H21 142事業
↓
H26 284事業
H23の実績
266事業

ゼロ予算事業

県職員の活動が最大の予算事業として、予算なしで施策を推進

H21 92事業

H23 179事業

(例)

「自らおこなう橋梁点検事業」

高所作業車等を使用せずに点検可能な橋長15m未満の県管理橋梁について、経費の節減及び職員の技術力向上を図るため、県職員自らが定期点検を実施



県民との協働事業

県民の皆様の積極的な参加により、県民と行政が、また、県民の方々がお互いに協働して施策を効果的に推進

H21 29事業

H23 55事業

(例)

「四国の右下」ええもんもつつくらんで事業」

牟岐大島内湾の「千年サンゴ」周辺におけるボランティアによるオニヒトデ駆除をはじめ、県民との協働による環境保全活動の推進



県民スポンサー事業

県の施策推進に当たり、県民の皆様から、「スポンサー」として、もの・人材・お金などの支援をいただき、施策をより一層強力で推進

H21 21事業

H23 32事業

(例)

「南部花・はな募金事業」

地元高校などのスポンサーから、地元アドプト団体に花の苗を提供してもらい、その花の苗をアドプト団体の手で植栽及び手入れし、道路植樹帯の維持管理を実施



県民との対話型広報広聴事業の展開！

情報の活用

進化する“宝の島・徳島「わくわくトーク」”

あらゆる世代、分野、地域を対象として、知事自らが
出向き、「地域課題解決型」の知事対話を実施

新たな手法による県政情報発信

職員自らが制作する“作り手の思いを込めた
「映像」による県政情報“の発信

各広報媒体をわかりやすく効果的に活用

県ホームページが役立っていると69%が回答
(H23 e-モニターアンケート)



魅せる！とくしまムービー
情報発信事業の展開

